



12月は、クリスマスや年末年始と、お楽しみがいっぱいの月です。新型コロナウイルス感染症の流行がみられている今、外出や来客が多い12月は特に感染対策に気をつける必要があります。また、新潟市では感染性胃腸炎も増えてきています。急な症状の出現に備えて、必要物品を用意しておくなどして、家族間でも感染が広がらないように対策を整えておきましょう。



感染性胃腸炎について

以下の症状がある場合は、保育園をお休みしましょう。

<下痢>

- ・24時間以内に水様便がみられた
- ・食事や水分を摂ると下痢になる
(1日に4回以上の下痢)
- ・下痢に伴い体温がいつもより高め

<嘔吐>

- ・24時間以内に嘔吐がある
- ・吐き気に伴い、いつもより体温が高め
- ・食事・水分を欲しがらない
- ・機嫌・顔色が悪く、元気がない

※下痢・嘔吐で衣類が汚れた場合は新潟市保育課の指導の下、園では洗わず、そのままビニールに入れてのお返しとなります。ご家庭での消毒をお願い致します。

<11月の感染症のお知らせ>
溶連菌感染症 2名

換気について

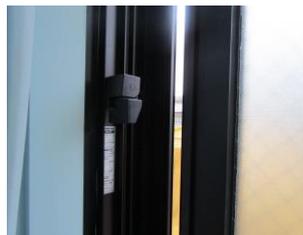
室内環境で、換気が不十分だと、感染のリスクが高まるのが最近の研修で報告されています。寒い時期は、窓を閉め切ることが多いですが、こまめな換気で、新鮮な空気と入れ替えましょう。

<園での換気対策について>

- ・1時間に1回5分程度、窓を大きく開けます。部屋が暖かいので、外気温との差で、急激に空気が入れ変わります。
- ・常に窓と入口の戸を少しあけ、空気の流れを作ります。入口のドアは、ドアストッパーを使い、閉め切った空間にならないようにしています。



- ・窓は、対角線上の窓を5cmほど常にあけた状態にして空気の流れを作っています。



- ・空調換気システムを利用し、常に換気扇を使用しています。